

令和4年度
教育委員会点検・評価報告書
(令和3年度事業対象)

令和4年7月
浦添市教育委員会

はじめに

地方教育行政の組織及び運営に関する法律(昭和31年法律第162号)の一部改正により、平成20年度から、教育委員会は毎年その権限に属する事務の管理及び執行の状況について、点検及び評価の報告書を作成し、議会に提出するとともに、公表しなければならないとされました。

これを受け、本市教育委員会においても平成20年度から点検・評価を行い、その報告書を作成し、市議会に提出するとともに、本市ホームページ上において公表しております。

令和4年度においても点検評価を実施いたします。

本報告書は、令和3年度において実施した事業の中から、重点施策と位置づける事業について、点検・評価を実施し、報告書としてまとめたものです。

ぜひ、ご一読いただき、本市教育委員会の取組みにご理解を賜るとともに、ご意見、ご指導を頂くことができれば幸いに存じます。

令和4年7月

浦添市教育委員会
教育長 當間 正和
職務代理者 又吉 繁
委員 下地 イツ子
委員 手登根 雄次
委員 銘 苺 健

目 次

I 点検・評価制度の概要	1
1 経緯	
2 目的	
3 学識経験者の知見の活用	
4 点検・評価の方法	
II 本市教育委員会の点検・評価の方法	2
1 対象となる事業の考え方	
2 点検・評価の様式	
3 点検・評価書の見方	
4 学識経験者の知見の活用	
III 教育委員会点検・評価書	
1 教育委員の活動評価	4
(1) 概要	
(2) 名簿	
(3) 教育委員の活動状況	
(4) 教育委員の活動自己評価	
2 教育長への委任事務評価	
点検評価対象事業一覧	6
(1) 社会教育 (No.1 ~No. 3)	
(2) 文化芸術 (No.4 ~No. 6)	
(3) 学校教育 (No.7 ~No.12)	
資 料	
1 教育委員会会議における議案等一覧	(1)
2 教育委員の活動状況	(4)
3 教育長の活動状況	(6)

点検・評価を終えて

I 点検・評価制度の概要

1 経緯

平成 18 年 12 月の教育基本法の改正及び平成 19 年 3 月の中央教育審議会の答申等を踏まえ、平成 19 年 6 月に地方教育行政の組織及び運営に関する法律（以下「地教行法」という。）が改正され、平成 20 年 4 月から施行されました。

地教行法改正の趣旨の大きな柱のひとつが「教育委員会の責任体制の明確化」であり、その趣旨に沿って今回の点検評価制度が導入されたものです。

これに伴い、教育委員会はその権限に属する事務について、点検・評価を行うことが義務づけられ、さらにその結果を議会に提出し、公表しなければならないこととされました。

2 目的

教育委員会は、首長から独立した合議制の執行機関であり、学校教育、社会教育、文化、スポーツ等の幅広い教育に関する事務を所掌しておりますが、この所掌する事務が適正かつ効果的に執行されているかについては、自らが事後チェックすることが重要であると考えられました。

今回の地教行法の改正に伴う点検・評価制度の導入により、効果的な教育行政の推進に資するとともに、その結果を議会に提出し、公表することとします。

3 学識経験者の知見の活用

学識経験者の知見の活用は、点検・評価の客観性を確保するためのものです。評価の方法や結果について教育に関し学識経験を有する者の意見を聴取する機会を設けます。

4 点検・評価の方法

点検・評価の具体的な方法について、国が基準を定めることはありません。点検・評価の項目や指標、議会への報告や公表の方法については、各教育委員会が実情を踏まえて決定することとなります。

地方教育行政の組織及び運営に関する法律（抄）

（教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価等）

第26条 教育委員会は、毎年、その権限に属する事務（前条第1項の規定により教育長に委任された事務その他教育長の権限に属する事務（同条第4項の規定により事務局職員等に委任された事務を含む。）を含む。）の管理及び執行の状況について点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を作成し、これを議会に提出するとともに、公表しなければならない。

2 教育委員会は、前項の点検及び評価を行うに当たっては、教育に関し学識経験を有する者の知見の活用を図るものとする。

（平成 20 年 4 月 1 日施行）

II 本市教育委員会の点検・評価の方法

1 対象となる事業の考え方

教育委員会の点検・評価の対象は、地方教育行政の組織及び運営に関する法律の規定により「教育委員会自ら管理・執行する事務」と「教育委員会から教育長に委任されている事務」となっております。

教育長への委任事務の点検については、義務的、経常的なものを除き、重点施策と位置づける事業について行うこととし、令和3年度は12の事業を精選し、点検・評価を行いました。

2 点検・評価の様式

本市が平成 29 年度より新教育委員会制度へ移行したことに伴い、「教育委員の活動」は、それまでの評価方式を改め、新制度の趣旨に沿って3つの項目で自己評価を行っております。

「教育長への委任事務」については、事業の自己評価に対する有識者の意見を付しております。

3 点検・評価書の見方

(1) 「教育委員の活動」

一年間の教育委員の活動を3段階評価で自己点検しました。

(2) 「教育長への委任事務」

- ① 「事業名」は、原則として予算上の事業名を引用してあります。
- ② 「事業概要」は、各事業の概要を簡潔に記載してあります。
- ③ 「内部評価」は、下記の指標に基づき自己評価を行いました。
- ④ 「外部評価」は、各分野の有識者の意見を付しております。

※自己評価配点基準

- | |
|--|
| 1 必要性・・・教育委員会が実施すべき範囲として |
| ・適切→3点 ・概ね適切→2点 ・やや不適切→1点 ・不適切→0点 |
| 2 有効性・・・予定された実績、成果を得るのに |
| ・有効→3点 ・概ね有効 →2点 |
| ・あまり有効でない→1点 ・有効でない→0点 |
| 3 効率性・・・投入した経費等が原資に見合う |
| ・実績を出している →3点 ・実績を概ね出している→2点 |
| ・実績をあまり出せない→1点 ・実績を出せない →0点 |
| 4 優先度・・・本事業が他に比べて |
| ・優先度がある →3点 ・概ね優先度がある→2点 |
| ・あまり優先度がない→1点 ・優先度がない →0点 |
| 5 総合評価 A→総合点 10 点以上 B→8~9点 C→6~7 点 D→5 点以下 |

4 学識経験者の知見の活用

この点検評価を開始した平成 20 年度の最初の有識者会議において有識者の方から各々の専門分野を生かすため、各有識者がそれぞれ関係の深い専門分野について意見を述べるのがよいのではという提案があり、以後、同様の手法を採用しております。教育委員会が自己点検・評価したものに対して、意見を述べていただきました。

「点検・評価に関する有識者」名簿 (五十音順・敬称略)

氏名	専門分野	事業担当部署
下地 安広	文化芸術	教育部
長田 隆子	社会教育	教育部
宮城 靖	学校教育	指導部

浦添市教育行政の「点検・評価に関する有識者」に関する要綱

(設置)

第1条 地方教育行政の組織及び運営に関する法律(昭和31年法律第162号)第26条の規定に基づき、教育に関する事務の点検及び評価を行うに当たって教育に関し学識経験を有する者の知見の活用を図るため、点検・評価に関する有識者(以下「有識者」という。)を置く。

(委嘱等)

第2条 有識者は、教育に関し学識経験を有し、教育活動に熱意のある者の中から、教育委員会が委嘱する。

2 有識者の任期は、当該年度における点検・評価に係る業務の終了時までとする。

(業務)

第3条 有識者は、次に掲げる業務を行う。

(1) 教育委員会が実施した点検・評価に関し意見を述べること。

(補則)

第4条 この要綱に定めるもののほか、必要な事項は教育長が別に定める。

附 則

この要綱は、平成21年1月29日から施行する。

この訓令は、平成27年5月19日から施行する。

Ⅲ 教育委員会点検・評価書

Ⅰ 教育委員の活動評価

(1) 概要

浦添市教育委員会は教育長と4人の教育委員で組織されています。教育委員は、毎月1回の定例会と必要に応じ臨時会へ出席し、付議された案件について審議等を行っています。また、学校や地域行事等への積極的参加や教育委員会連合会を通して、他市町村教育委員会の情報収集や教育行政に関する諸問題を研究討議し、浦添市の教育行政の発展のために努めています。

(2) 名簿

令和4年3月31日現在

役職名	氏名	任期
教育長	當間正和	令和2年5月31日～令和5年5月30日
職務代理者	下地イツ子	平成30年10月1日～令和4年9月30日
委員	又吉繁	平成31年4月1日～令和5年3月31日
委員	手登根雄次	令和2年10月1日～令和6年9月30日
委員	銘苺健	令和3年4月20日～令和7年4月19日

(3) 教育委員の活動状況

	内容	延べ件数
1	教育委員会の会議(定例会・臨時会)	19
2	総合教育会議	1
3	教育委員の資質向上(研修会・勉強会等)	12
4	学校訪問	17
5	各学校行事(儀式・体育行事等)	0
6	各種行事(式典・大会等)	1
7	研究大会・会議・市主催事業等への参加	4

(4) 教育委員の活動自己評価

平成 29 年度から新教育委員会制度に移行したことを契機に、教育委員会活動評価について新たに教育長へのチェック機能も評価項目として加えた。各活動評価についても項目毎に ABC の評価基準を設け自己評価方式に変更した。

評価に当たっては、教育の政治的中立性、継続性、安定性の確保を重視しつつ、教育行政における責任体制の明確化、迅速な危機管理体制の構築、市長との連携の強化等を踏まえて評価を行った。

＜評価基準＞ A:よくできた B:できた C:不十分			
項目	内容	評価	
教育委員会会議について	1	方針の決定や執行にあたって公正公平性・継続安定性は確保できたか。	A
		○常に公正公平性を心がけ、急な対応においても会議を開催することができた。	
	2	議案の決定は十分な時間や資料等を確保しスムーズに審議することができたか。	A
		○議案決定に際しては、事前の勉強会開催や適切な関連資料が提供され、十分な協議のもとに審議することができた。	
	3	議案の審議にあたって合議制は十分に機能したか。	A
		○各委員の建設的な意見交換の中で合議制が保たれた。	
地域住民の意向の反映について	1	学校訪問を通して、学校教育の現状を把握し、適切な支援が行えたか。	A
		○全小中学校を訪問することで、コロナ禍の中でもオンライン授業や ICT 機器を活用した授業等特色ある取組が把握できた。また、課題については、持ち帰り、当該課に伝え、適切な支援に努めることができた。	
	2	社会教育行事・各種行事等へ参加し、現状把握することはできたか。	B
		○新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から参加を見合わせたか、事業主管課から情報提供を受けることで現状把握に努めた。	
	3	外部評価の点検・評価は適切に行われ、スムーズに議会や市民へ報告・公表できたか。	A
		○9月議会への報告及び本市ホームページで公表した。	
教育長について	1	教育長は重要な審議事項や重点課題などの進捗・執行状況などを効果的に報告したか。	A
		○定例の教育委員会会議においての報告以外にも教育長への委任事務の事務進捗状況等についての報告がなされた。	
	2	会議の透明性のため、原則として、会議の議事録を作成・公表することができたか。	A
		○ 会議の議事録は事務局の迅速な作成で、審議内容を各委員で共有化できた。	
		○今年度より教育委員会会議の概要を市ホームページで公開することができた。	
		○教育委員が日頃関心をもっている教育課題が議題として取り上げることができた。	

2 教育長への委任事務評価(令和3年度)

点検評価対象事業一覧

No.	分野	事業名	担当課	自己評価					有識者
				必要性	有効性	効率性	優先度	総合評価	
1	社会教育	社会教育推進事業	社会教育推進課	3	2	2	2	B	長田 隆子 氏
2		放課後子ども教室推進事業	社会教育推進課	3	2	2	3	A	
3		公民館運営事業	社会教育推進課 (中央公民館)	3	2	2	3	A	
4	文化芸術	史跡浦添城跡保存整備事業	文化財課	3	3	3	3	A	下地 安広 氏
5		図書館運営事業	社会教育推進課 (図書館)	3	1	2	3	B	
6		悠々ロマン漆に会うまち浦添推進事業	文化財課 (美術館)	3	3	2	3	A	
7	学校教育	学力向上対策事業	学校教育課	3	3	2	3	A	宮城 靖 氏
8		エコアイランドに向けた人材育成 及びキャリア教育事業	学校教育課	3	2	2	2	B	
9		GIGAスクール情報機器整備事業	学校教育課 (教育研究所)	3	3	2	3	A	
10		こどもが主体的に学習するための 学校ICT機器整備事業	学校教育課 (教育研究所)	3	2	2	3	A	
11		課題を抱える児童生徒支援事業	こども青少年課	3	3	3	3	A	
12		学校給食費補助金交付事業	学校給食調理場	3	2	2	3	A	

※自己評価配点基準

【各項目】3点(適切等)～0点(不適切等)×4項目

【総合評価】A(10点以上)・B(8～9点)・C(6～7点)・D(5点以下)

教育委員会点検・評価書(令和3年度実施事業)

No	I	事業名	社会教育推進事業		
担当課	社会教育推進課		有識者	長田 隆子	
事業概要	生活の向上や自己実現をめざす市民に学習の場を提供し、自発的・主体的な学習活動への支援を行う。また、社会教育関係団体の育成及びその活動支援を行うことで、地域社会活動の活性化を促し社会教育の推進を図る。				
評価	必要性	有効性	効率性	優先度	
	3	2	2	2	
B					
成果等	<p>コロナの影響で講座等が計画どおり実施できなかったが、感染防止対策を徹底する等、オンライン研修などの持ち方を工夫し、可能な限りの研修事業を行った。</p> <p>(1) あなたに伝えたい市民講座 7回開催(ミニ講座3回)延べ人数169名</p> <p>(2) 市民のまなび応援講座 10グループ学習回数36回(延427名)</p> <p>当課が企画した講座と市民が共通課題解決のために自主企画・運営する応援講座との相互学習により、地域・家庭教育力の向上を図った。</p> <p>(3) 浦添市てだこ学園大学院運営委託 講座科目:52(1年次)、入学生:33名 卒業生:0名(延1,210名) ※新型コロナウイルス感染拡大により令和2年度新入生受入れ中止のため卒業生なし。</p> <p>(4) 社会教育関係団体活動の支援 ○浦添市PTA連合会 910,609円 ○浦添市婦人連合会 1,172,037円 補助金交付により団体活動の充実及び社会教育活動の推進が図られた。</p>				
課題	<p>○市民のニーズを把握し、効果的な学習機会を提供し、主体的な学習活動へつながる仕組みづくりが必要。</p> <p>○婦人連合会に関しては高齢化、市PTA連合会に関しては会員の減少が進んでいる。活動状況を広く紹介し、新規会員の募集・活動内容の見直しなど検討していく必要がある。</p>				
今後の方向	<p>○家庭・学校・地域における教育力の向上を目指し、学校教育と社会教育の緊密な連携・協力を図る。</p> <p>○学んだことを、家庭・地域の課題解決に結びつけ地域貢献活動に繋がるよう、てだこ学園大学院と連携しながら活動支援および社会教育の推進に努める。</p>				
有識者の意見	<p>○先の見えないコロナ禍の中、講座開催方法の工夫研究が現在の社会教育推進の必要課題といえるかもしれません。講座開催が厳しいこの時期を利用して、社会教育主管課の責務として、徹底して市民の学習ニーズを調査し、社会教育機関の講座に反映させてはどうだろうか。</p> <p>○市民の応援講座の中で Zoom 勉強会を自主企画した市民Gがいたのは心強い。今年度より名称が「自主企画まなび助成制度」へ改称されることについては、広報を徹底して市民の学びを引き続きサポートしていただきたい。</p> <p>○てだこ学園大学院の講座内容に「地域学校協働活動」を入れたことによる、「学びの地域への還元の自覚の高まり」「協働の広がり」を期待したい。</p> <p>○社会教育団体については、費用対効果の面からも、補助金交付に留まらず、会員の高齢化、減少の解決、合わせて、社会教育団体であるとの自覚をもって、自主企画の社会教育事業の展開を積極的に推進するよう指導助言を行なうこと。それが市の社会教育推進の底上げに繋がる。</p>				

教育委員会点検・評価書(令和3年度実施事業)

No	2	事業名	放課後子ども教室推進事業		
担当課	社会教育推進課		有識者	長田 隆子	
事業概要	放課後や週末等に、地域の方々の協力を得て、子どもたちと共に学習やスポーツ、文化活動及び地域交流活動等の取組を実施する。その取り組みにより、安全・安心な地域社会の中で子どもたちが心豊かで健やかに育まれる環境づくりを推進する。(平成19年度より文部科学省及び厚生労働省の連携のもと開始。)				
評価	必要性	有効性	効率性	優先度	
	3	2	2	3	
	A				
成果等	<ul style="list-style-type: none"> ○令和3年度 放課後子ども教室開設数 18教室 ○地域の方々の協力のもと、子どもたちに学習の機会や文化活動等を提供することができ、活動を通し地域の大人と積極的な交流や子どもたちの自主性・社会性を育むことができた。 ○令和3年度は新型コロナウイルス感染症の影響により活動できない時期もあったが、感染防止対策をしながら活動を継続することができた。 				
課題	<ul style="list-style-type: none"> ○小学校区により開設教室数の偏りやコーディネーターが不在であった。 ○放課後児童クラブ(学童)との連携・協力を推進する「放課後子ども総合プラン」(平成26年度より開始)が目指す連携型・一体型教室の設置数は4教室と低い水準。 				
今後の方向	<ul style="list-style-type: none"> ○全小学校区において、教室開設を目指し、コーディネーター及びボランティアと連携し、事業活動の内容充実を目指す。 ○教室開設の増加を目指し、広報活動等の周知方法を工夫する。 ○連携型・一体型教室を設置するという目標に向かって、学童所管課と連携・協力していく。 				
有識者の意見	<ul style="list-style-type: none"> ○地域学校協働活動における、地域学校協働活動推進員(地域コーディネーター)、ボランティアと、放課後子ども教室の協働活動サポーター、協働活動支援員はそれぞれに違う役割を担うものであると解する。しかし担い手が居ない中で、中には重複して負担している方もいると聞いた。広い意味で、放課後子ども教室も地域学校協働活動推進にあたるが、本市が令和6年度までに全校設置を目指すコミュニティスクールにおける、地域コーディネーターの役割は益々重要かつ多忙となると考えられる。地域コーディネーターの全校配置と、放課後子ども教室の協働活動サポーター等との役割を明確にした上で各々の人員確保に向け、市のHPや学校・地域を通して分かり易い広報に努めていただきたい。 ○教室開設については、空き教室のない本市の学校事情を踏まえて、子ども達の住んでいる地域の自治公民館への開設協力をお願いするのが望ましいと考える。(41自治公民館中6自治公民館だけ教室開催されている現状) ○学童所管課との連携・協力については、指導員等スタッフの負担感を軽減すべく策を講じていただきたい。 				

教育委員会点検・評価書（令和3年度実施事業）

No	3	事業名	公民館運営事業		
担当課	社会教育推進課		有識者	長田 隆子	
事業概要	多様な価値観に対応した社会教育推進の取り組みとして、地域・現代的ニーズ（必要課題）と市民のニーズ（要求課題）を捉えた「公民館講座」、自治公民館が主体となった「自治公民館講座」の開設等、学習支援を通じて「まなぶ・つどう・つなぐ・いかす」社会教育の場を提供する。				
評価	必要性	有効性	効率性	優先度	
	3	2	2	3	
A					
成果等	<p>(1) 公民館講座 14 講座(全 22 回) 学習者延べ949名 ○シニア世代への新たな取り組みとして、スマホ講座の講師を同じ世代のシニア(シルバー人材センターより派遣)に設定したことで、気軽に聞きやすいと好評だった。 ○OSDGs関連において、オリオンビール(株)や国際海洋環境情報センター等、多種多様な職種と連携した講座が展開できた。 ○Zoomの活用に加え、対面・オンラインを同時に行うハイブリット形式を導入し、新たな学習形態の構築ができた。このことにより、今まで公民館に足を運ぶことの少なかった年代層を講座に参加させる方向性が見えてきた。</p> <p>(2) 自治公民館講座 7自治公民館 10 講座(全 38 回)開設 学習者延べ 305 名</p> <p>(3) その他(戦争体験デジタル紙芝居の制作) ○浦添の戦争体験談をもとにした現存の紙芝居をデジタル化し、公民館朗読サークル、朗読講座受講者、浦添ゆいゆいキッズシアターが音声収録に参加。学びの成果を活かしながら、計4作品のデジタル紙芝居を制作することができた。</p>				
課題	<p>○新型コロナウイルス感染症等の影響下における講座運営 ○自治公民館講座の周知及び活用方法の工夫 ○講座における到達目標の設定、対象者の明確化等、効果的な学習プログラムの編成</p>				
今後の方向	<p>○制作したデジタル紙芝居を、小中学校への出前講座「平和キャラバン」をはじめ、平和学習で活用する。 ○携帯大手キャリアの3G 回線サービスの順次終了に伴い、「シニアをデジタルの世界へ」をテーマに掲げ、スマホ関連講座の充実を図る。 ○市内全自治公民館を巡り、中央公民館と各自治公民館が抱える地域課題を共有しながら、自治公民館講座開設支援をはじめ、連携強化に努める。</p>				
有識者の意見	<p>○コロナ禍の中での講座開設はこれまでにないご苦労があったと推察します。しかし、災い転じて何とやらで、オンラインでの講座運営により、これまで公民館に足を運ばなかった、若年層、壮年男性等の学習者が増えたことや、新たな講座講師発掘や企業連携等にも繋がり多様な成果が出たものと考えます。併せてシニアのデジタル教育も必要課題と捉えている点も高評価。 ○41自治公民館による講座開設が恒常化すれば、本市の生涯学習のすそ野が広がるので、公立公民館の役割として、指導助言等の支援は重要である。住民による企画委員会設置や全自治公民館の学習成果発表会の場合(自治公民館まつり)の創出とか具体的な提案等。</p>				

教育委員会点検・評価書(令和3年度実施事業)

No	4	事業名	史跡浦添城跡保存整備事業		
担当課	文化財課		有識者	下地 安広	
事業概要	<p>本事業は国指定史跡浦添城跡の適切な保存と活用を図るため、「史跡浦添城跡整備基本計画」に基づき城壁等遺構の復元整備を行う事業であり、浦添グスクと浦添ようどれを核とした歴史公園の整備を最終的な目標としている。第Ⅰ期事業(浦添ようどれ復元整備)は平成17年度で終了し、現在は第Ⅱ期地区の整備に着手している。</p>				
評価	必要性	有効性	効率性	優先度	
	3	3	3	3	
	A				
成果等	<p>(1) 岩崩落対策工事 浦添城跡北側の崖面に対して岩崩落対策工事を行った。岩崩落対策工事は落石防護補強土工(高さ3m)19.2m、崖面へのロープ伏工237.75㎡等を行い、これにより史跡を訪れる見学者等がより安全に散策できるようになった。</p> <p>(2) 基本設計 浦添城跡指定範囲12万4千㎡のうち、浦添城跡南斜面を中心とする第Ⅱ期整備地区4万5千㎡に対し具体的整備方法の検討を行い、史跡浦添城跡整備委員会の了承を得た上で基本設計を作成した。</p> <p>(3) 発掘調査 浦添城跡の復元整備の根拠資料を得るための遺構確認調査を実施した。調査では、石積城壁外面の根石(石積最下段の石)、城壁を構築するために加工された岩盤や盛土造成層などが検出された。これにより調査地点における城壁の詳細な位置や構造が確認された。</p>				
課題	<p>○城壁の復元整備の前に、その基盤となる岩盤の状態を専門家と相談のうえ調査していく必要がある。</p> <p>○第Ⅱ期地区の城壁遺構の範囲が広いため、城壁の性状に合わせて区域分けを行ったうえで整備スケジュールに当てはめていく必要がある。</p>				
今後の方向	<p>○城壁の基盤となる琉球石灰岩岩盤の調査を推進する。</p> <p>○岩盤の調査を踏まえたうえで、より具体的な第Ⅱ期地区の整備スケジュールを検討する。</p> <p>○城壁の全容を解明するため、発掘調査を継続的に実施する。</p> <p>○発掘調査成果を周知・活用し、地域史や文化財保護等の普及啓発を促進する。</p>				
有識者の意見	<p>○岩崩落対策工事は隣接する墓地所有者との関係を考えると早めの対応が求められるものであり、早急な対策工事の実施は高く評価する。今後も史跡として一帯の安全と保全・活用の視点で適切な管理をお願いしたい。</p> <p>○基本設計は浦添城跡南斜面を中心とした第Ⅱ期整備地区4万5千㎡のものである。この基本設計は進捗が5年前後足踏み状況にあったが、主管課の粘り強い当該整備委員会や文化庁との調整により基本設計が作成されたことは高く評価する。</p> <p>○発掘調査で検出された遺構等は基本的に現場説明会等を通じた現場公開が必要と考えるがコロナ禍で実施できなかったと主管課から説明があった。発掘調査現場の公開手法は広報や</p>				

市 HP 等、いろいろ考えられることから、今後の現場公開は多角的な視点で検討し、可能な限り発掘現場を公開する方向で努力をお願いしたい。

○主管課は課題を①城壁の基盤と岩盤の調査、②第Ⅱ期地区の整備スケジュール調整としているが、この二つの課題は短期間で簡単に解決しそうにないと推察する。特に城壁の基盤と岩盤の調査については、琉球石灰岩岩盤研究及び施工の専門家の知識や経験を総動員した調査や対策工事等の検討が必要となるであろう。また、その様な中で第Ⅱ期地区の整備スケジュールは自ずと見えてくると考える。

教育委員会点検・評価書(令和3年度実施事業)

No	5	事業名	図書館運営事業		
担当課	社会教育推進課(図書館)		有識者	下地 安広	
事業概要	浦添市立図書館は図書及びその他の資料の収集・整理・保存に努め、その利用促進を図り、市民の教養、調査研究、レクリエーション活動を援助し、生涯学習及び課題解決を支援し、市の教育・文化振興の拠点となる図書館を目指す。併せて、多様化・高度化する市民のニーズや社会の変化に伴う新たな要請へ対応する。				
評価	必要性	有効性	効率性	優先度	
	3	1	2	3	
	B				
成果等	(1) 図書資料等の貸出業務 新型コロナウイルス感染症の影響で貸出冊数、貸出人数の減少があったが、臨時休館時に臨時特設窓口を設置したことで、予約総数が増加した。 ・貸出冊数：R3年度 235,576冊 (R2年度 274,430冊、R1年度 319,988冊) ・1日平均貸出冊数：R3年度 1,189冊 (R2年度 1,172冊、R1年度 1,240冊) ・貸出人数：R3年度 52,760人 (R2年度 59,870人、R1年度 71,445人) ・1日平均貸出人数：R3年度 266人 (R2年度 256人、R1年度 277人) ・予約総数：R3年度 22,130件 (R2年度 16,454件、R1年度 15,527件) ・Web予約数：R3年度 18,513件 (R2年度 13,565件、R1年度 11,243件) ・新規利用申請者数：R3年度 1,311人 (R2年度 1,347人、R1年度 1,576人) ・雑誌スポンサー：R3公募：18事業所、22タイトル、金額約25万円 ※令和4年3月現在 (R2公募：12事業所、14タイトル、金額約16万円) (R1公募：10事業所、11タイトル、金額約14万円) (2) 電子図書館事業を令和4年2月1日から新たに開始 ・貸出冊数 R3年度 3,685冊。 (3) うらそえYA文芸賞 ・応募者数 R3年度 小説：14人、詩：6人、審査会後 HP で受賞者を発表、受賞者作品集の発行、さらに浦添市文化協会文芸部会発行の「うらそえ文藝」に、煌賞2作品を掲載。				
課題	○貸出件数の減少要因は、新型コロナウイルス感染症拡大により開館日が、令和2年度より36日減少したことである。 ○電子図書には、買い取り型と期間限定型(2年間)の2種類ある。期間限定型は人気の高いベストセラー本が多い一方、蔵書数は伸びにくい。利用者が読みたい本で、蔵書数も増やすことができる選書方法が課題である。 ○新型コロナウイルス感染症拡大により学校の休校等で、うらそえYA文芸賞の応募数が減少した。				
今後の方向	○雑誌スポンサーは、令和3年度より6事業所、8タイトル、約9万円増となった。引き続き促進に努める。 ○利用者の興味・関心を引き出すような様々な企画や変化に富んだ資料の提供等を実施する。また、利便性の高いWeb貸出予約等の周知により、貸出件数の増加に繋げたい。 ○電子図書貸出ランキングや他館の蔵書情報を考慮し、電子図書利用者の増加につながる選書を工夫したい。 ○YA文芸賞の周知方法として、HP(ホームページ)、Twitter(ツイッター)、LINE(ライン)、広報うらそえ、図書館内でポスター掲示、チラシ配布、市内の学校長へ周知・依頼を実施した。さらに配布チラシの枚数を増やし、大学構内にもポスター掲示を検討したい。				

有識者の意見

- コロナ禍で公共施設等の利用制限が多々ある中、臨時特設窓口の設置や電子図書館事業の新たなスタート等、今後の図書館運営を視点した創意工夫は高く評価できる。
- 貸出冊数、貸出人数の減少はコロナ禍で閉館日が多かった影響もあると思うが、Web 予約数は R3 年度 18,513 件と前年度比で約5千件の増加が確認できた。市民の今後の図書館利用を考える上で参考にすべきデータと考える。
- 電子図書館事業の二か月で貸出冊数 3,685 冊が多いか少ないか事業評価は他市電子図書館との比較が必要と考えるが、少なくとも半年間の利用状況を見てからとしたい。一方で利用者を増やすためには利用者の分析も必要であろう。利用者分析は電子図書館の選書にも繋がると考えるからである。
- うらそえ YA 文芸賞は応募者数が小説部門で 14 人、詩部門で 6 人、新型コロナウイルス感染症拡大により学校の休校等で応募の減少があったと図書館より説明があった。しかし、ここは我慢の時期として是非この事業を継続する方向で考えて欲しいと思っている。YA 世代が自ら応募した作品に芥川賞作家やプロの作家や詩人等から助言や評価を直接もらえる機会となるからだ。また、浦添市文化協会文芸部会発行の「うらそえ文藝」との連携は引き続きお願いしたい。
- 雑誌スポンサーは、館長を中心に取り組み 6 事業所、8 タイトル、約 9 万円増の成果があった点を高く評価する。

教育委員会点検・評価書(令和3年度実施事業)

No	6	事業名	悠々ロマン漆に出会うまち浦添推進事業		
担当課	文化財課(美術館)		有識者	下地 安広	
事業概要	沖縄振興特別推進交付金を活用した事業。漆芸美術館の特徴を活かした常設展示と収蔵品の充実化などを実施。企画展は「新収蔵品展」「琉球八景展」、常設展は3回のテーマ展示を行うとともに、作品の購入及び修復を行う。				
評価	必要性	有効性	効率性	優先度	
	3	3	2	3	
	A				
成果等	<p>(1)実施展覧会 新収蔵品・八景展(観覧者数338人、R2年度213人、R1年度856人) 常設展示3回(年間常設観覧者数2,907人、R2年度4,456人、R1年度6,296人)</p> <p>(2)講座 常設展関連講座1回(参加者15人)・漆の日体験教室1回(参加者5人)</p> <p>(3)広報関係 常設展ポスター・チラシ・看板パネル作成3回</p> <p>(4)音声ガイド作成 日本語・英語・中国語各3回(利用者957人、R2年度748人、R1年度782人)</p> <p>(5)作品修復 1点</p> <p>(6)作品購入 現代作家作品14点・王国時代の漆芸品5点・書2点 計21点</p>				
課題	<p>○新型コロナの影響で臨時休館や外出自粛などがあり、来館者が減少。また、講座や体験教室も開催できなかったものの、参加人数を制限しての実施となった。ただし、音声ガイドの利用者は増えており、需要の高さがうかがえる。</p> <p>○消毒や人数制限など安全安心な施設運営とそのアピールにより、開館・事業実施を続けていく必要がある。</p>				
今後の方向	<p>○沖縄振興特別推進交付金を活用した同事業は令和3年度でいったん終了した。</p> <p>○今後は「悠々ロマン～」事業の成果を活用し、常設展示や講座の充実に努める。</p> <p>○企画展は予算をかけない形での開催や外部補助金の活用も視野に入れて実施していきたい。</p> <p>○コロナ後をみすえ、コンスタントに県内外の観光客向け広報を行うことや、近隣の学校・施設などへの利用呼びかけなどを行っていきたい。</p>				
有識者の意見	<p>○展覧会の新収蔵品・八景展の観覧者数338人は、前年度の約1.6倍の観覧者があったことから評価したい。しかし、常設展示は年間観覧者数2,907人と前年度観覧者数の65%と著しい減少であった。コロナ禍とは言え、令和元年度観覧者数の46%の観覧者数は常設展示の企画や見せ方等、これまでの発想から視点を変えた創意工夫が必要と感じる。</p> <p>○講座については、一部講座のZoom等を活用したりリモート講座の検討もお願いしたい。</p> <p>○音声ガイドは利用者957人と前年度より27.94%の増加が見られた点は評価する。</p> <p>○作品修復1点と作品購入21点は高く評価が、今後の作品の修復と収集は気がかりである。</p>				

教育委員会点検・評価書(令和3年度実施事業)

No	7	事業名	学力向上対策事業		
担当課	学校教育課		有識者	宮城 靖	
事業概要	<p>市内幼児・児童・生徒の学力向上実現のために以下の事業を行う。</p> <p>(1)『学力向上推進委員会設置要綱』を基に、学力向上推進委員会・専門部会の開催。</p> <p>(2)『浦添市学力向上推進実践報告書』を作成・配布し、各幼稚園・こども園、各小中学校、家庭・地域、関係各課・機関における学力向上マネジメントのPDCAサイクルを意識した取組。</p> <p>(3)中学校において、英語検定、漢字検定、数学検定受検生徒へ検定料の半額補助。</p>				
評価	必要性	有効性	効率性	優先度	
	3	3	2	3	
A					
成果等	<p>(1) 学力向上推進委員会・専門部会の開催 → 学力向上推進委員会：(R3実績：0回, R2実績：2回, R1実績：2回) 専門部会：(R3実績：0回, R2実績：0回, R1実績：1回)</p> <p>(2) 『浦添市学力向上推進実践報告書』作成・配布 → R3実績：(120部) R2実績：(120部) R1実績：(120部)</p> <p>(3) 各種検定料の半額補助 → R3実績：918人(英検：387人、漢検：363人、数検：168人) R2実績：1055人(英検：465人、漢検：429人、数検：161人) R1実績：1172人(英検：553人、漢検：468人、数検：151人)</p> <p>○「社会に開かれた教育課程」の実現に向けて、学校運営協議会制度のモデル校として2校を指定し、学校・家庭・地域の連携・協働のさらなる充実に努めることができた。</p>				
課題	<p>○学力向上推進に係る重点項目等を各学校(園)に対し明確に示す必要がある。</p> <p>○『実践報告書』の作成方法や内容について、見直しを図る必要がある。</p> <p>○各種検定料半額補助の実績が減となっている。</p> <p>○学力向上推進の取組とR6年度全校設置となる学校運営協議会との連携・協働の在り方。</p>				
今後の方向	<p>○各種会議の確実な実施により、各学校(園)における実践的かつ機能的な取組充実に努める。</p> <p>○『実践報告書』が、他の学校(園)の参考となるよう見直しを図り、その内容を充実させる。</p> <p>○各種検定料の半額補助について、各中学校や生徒・保護者に対し、尚一層の周知に努める。</p> <p>○各学校の学力向上推進の取組充実に学校運営協議会との連携・協働について助言を行う。</p>				
有識者の意見	<p>本市の児童・生徒が「何を学ぶか」「どのように学ぶか」そして「何ができるようになるか」このような資質・能力を育むためには、学校・家庭・地域が連携した取組「社会に開かれた教育課程」の実現が必要であることを、学習指導要領には記されている。</p> <p>学力向上推進プランを受け、毎年複数回開催されている学力向上推進委員会・専門部会もコロナウィルスの感染拡大の懸念から令和3年度は実施をできていないが、『浦添市学力向上実践報告書』を通して、各園・各学校の事例等を共有し、他校の良い例を参考に各学校で改革できるようにしたことは、教育委員会の取組みとして非常に素晴らしく、今後も積極的に継続指導して頂きたい。</p> <p>各種検定試験への補助事業については、前年度より1割ほど減少傾向にあるものの、コロナ禍で実施を見送った学校もあり、来年度は今年の実数から増加することも見込まれる。生徒が積極的に資格取得に挑戦することが出来る環境を今後も継続できるようお願いしたい。</p> <p>学校運営協議会は、令和6年度は全校で設置となる。学校・家庭・地域が連携した学力の向上を目指すには、それぞれの立場で児童・生徒に関わりながら、教育委員会主導の下、「社会に開かれた教育課程」の実現を目指していただきたい。</p>				

教育委員会点検・評価書(令和3年度実施事業)

No	8	事業名	エコアイランドに向けた人材育成及びキャリア教育事業																										
担当課	学校教育課		有識者	宮城 靖																									
事業概要	<p>将来の浦添市、エコアイランド沖縄を支えていく児童の豊かな社会性を育むため、市立全11小 学校の5年生全員(1,295名)を対象に、日帰りで農漁村部(つつじエコパーク)での自然体験 活動(プロジェクト・アドベンチャー)を行う。</p>																												
評価	必要性	有効性	効率性	優先度																									
	3	2	2	2																									
	B																												
成果等	<p>○【回答者:児童】本事業実施による児童の意識・行動の変容調査(事前・事後)の結果</p> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 50%;"></th> <th style="width: 15%;">事前</th> <th style="width: 15%;">事後</th> <th style="width: 10%;">増減</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1.主体的に考え他者と関わり自力解決する</td> <td>69.4%</td> <td>86.5%</td> <td>+17.1</td> </tr> <tr> <td>2.自己有用感の高まり</td> <td>75.5%</td> <td>88.0%</td> <td>+12.5</td> </tr> <tr> <td>3.ものごとを最後までやり遂げる</td> <td>78.5%</td> <td>88.6%</td> <td>+10.1</td> </tr> <tr> <td>4.多くの人と関わる</td> <td>63.2%</td> <td>83.8%</td> <td>+20.6</td> </tr> <tr> <td>5.学びのPDCA サイクル</td> <td>66.8%</td> <td>80.5%</td> <td>+13.7</td> </tr> </tbody> </table> <p>以上の結果から全項目において80%以上の児童が肯定的な変容があったと回答している。 また、保護者の記述意見から、「自分から進んであいさつするようになった」や「進んでお手伝 いをするようになった」「人に対して思いやりを持つようになった」などがあり、児童の意識や行動 に変容がうかがえる。</p>						事前	事後	増減	1.主体的に考え他者と関わり自力解決する	69.4%	86.5%	+17.1	2.自己有用感の高まり	75.5%	88.0%	+12.5	3.ものごとを最後までやり遂げる	78.5%	88.6%	+10.1	4.多くの人と関わる	63.2%	83.8%	+20.6	5.学びのPDCA サイクル	66.8%	80.5%	+13.7
	事前	事後	増減																										
1.主体的に考え他者と関わり自力解決する	69.4%	86.5%	+17.1																										
2.自己有用感の高まり	75.5%	88.0%	+12.5																										
3.ものごとを最後までやり遂げる	78.5%	88.6%	+10.1																										
4.多くの人と関わる	63.2%	83.8%	+20.6																										
5.学びのPDCA サイクル	66.8%	80.5%	+13.7																										
課題	<p>○新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、当初予定していた2泊3日の計画から、日帰 りでの活動内容に変更した。感染状況によって柔軟に対応できるように工夫する必要がある。 ○児童が、本事業で学んだことを学校生活の中でもさらに活用できるよう、学校と連携を図って いきたい。</p>																												
今後の方向	<p>○本事業(集団宿泊的行事)は小学校学習指導要領に実施が位置づけられており必要である。 ○本事業名での実施は終了となるが、児童の意識の変容や保護者の意見から、引き続き自然 豊かな環境の中でよりよい人間関係を形成しようとする態度(社会性)を身につけるとともに、 自分の考えを深めたり、広げたりする協働的な学びができる児童の育成を目指す。 ○新型コロナウイルス感染症へ柔軟に対応しながら、学校の実態に応じた体験プログラムが実 施できるように利用施設を現在の1カ所から複数箇所へ選択肢を増やす必要がある。</p>																												
有識者の意見	<p>本市の「学校教育指導目標」には、確かな学力の向上を始めとして6つの指針が示されてい る。その中に、「心豊かな情操の育成と人間性の尊重」の充実を目指し、①一人一人の個性を尊 重し、教師・幼児・児童・生徒間の触れ合いを一層緊密にする、②教育環境の整備を図り、美 しいものに感動する豊かな情操を育てる、ことが掲げられている。</p> <p>本事業の「エコアイランドに向けた人材育成及びキャリア教育事業」では、豊かな自然の中で 児童が互いに協力し、自らの情操を高めていくことが目標とされ、本事業実施前後の調査から も著しく変化した心の状態が覗え、事業実施の効果は十分であったと思われる。</p> <p>コロナ禍中で、今年度は宿泊を伴う事業を縮小し日帰り実施となってしまったが、今後は宿 泊(2泊3日)を伴う事業に戻し、児童がSDGs等へ積極的に関われる環境を作ってもらいたい。</p>																												

教育委員会点検・評価書(令和3年度実施事業)

No	9	事業名	GIGAスクール情報機器整備事業		
担当課	学校教育課(教育研究係)		有識者	宮城 靖	
事業概要	<p>新学習指導要領に基づくICTを活用した学習活動を充実させ、学校及び家庭における様々な学習で全ての児童生徒に学びを保障し、「主体的・対話的で深い学び」の実現に資するため、一人一台端末の環境を整備する。</p>				
評価	必要性	有効性	効率性	優先度	
	3	3	2	3	
	A				
成果等	<p>○GIGA スクール端末を有効に活用した、主体的・対話的で深い学びを目指した授業改善が全学校で行われた。</p> <p>○コロナ感染症拡大による臨時休業中のオンライン授業を全学校で実施することができた。</p> <p>(1) 一人一台端末と高速通信ネットワーク等の環境整備 本事業により、児童生徒一人一台のタブレット端末の整備を終え、本格的に活用を開始した。また、一人一台端末を活用した授業での一斉使用及びオンライン授業に耐えうる通信環境を整えるため、高速大容量ネットワークの新規導入、機器入れ替えによる強化を行った。</p> <p>(2) ICT機器活用のサポートと保守管理 浦添市ICT支援員を4名に増員し、各担当校の授業でのICT活用サポートや機器メンテナンス等を行うことで安定的な活用を実現できた。また、業務委託によるGIGAスクールサポーター8名が端末活用に係る授業支援、機器設定サポート業務を担い、ICT支援員と分担しながら円滑に活用の支援を行うことができた。</p> <p>(3) ニーズに応じた教職員の研修機会の提供 ICT支援員及びGIGAスクールサポーターにより、校内研修への支援(出前講座)を計59回、教職員個々のニーズに応じた個別研修を計285回にわたって実施できた。</p>				
課題	<p>○ 本事業によって整備された端末及びネットワーク等の環境整備について、今後も安定的に運用されるよう、長期的な視点を持って運用管理していく必要がある。</p> <p>○ 「まず使ってみる」から「効果的な活用」に向けた教職員等の人材育成が急務である。</p> <p>○ 児童生徒が活用していく上での、家庭を含めた「情報モラル教育」の充実が求められる。</p>				
今後の方向	<p>○ 長期的な視点を持った運用管理システムの構築と、児童生徒の情報モラル教育及び運用管理ルール徹底と不断の見直し。</p> <p>○ 約12,000台の端末が日常的かつ効果的に活用されるための、教職員研修の計画的・継続的な実施と学校現場のニーズをとらえたきめ細やかな支援。</p> <p>○ 学校現場の運用と活用を支えるICT支援員の業務整理と資質の向上、効果的な活用を促進するための支援体制の強化。</p>				
有識者の意見	<p>GIGA スクール構想により、本市では児童生徒に一人一台の情報端末の整備を完了した。本事業は、全ての児童生徒に学びを保障し、「主体的・対話的で深い学び」の実現に資する本市の学力向上推進においては、非常に有効な手段として捉えている。</p> <p>感染拡大したコロナウィルスに対応するための休校等では、全ての学校でオンライン授業が実施され、学びが保障されている。また、GIGAスクールに伴う支援員やスクールサポーターの増員は、学校現場で活用され教職員のICT教育の資質向上に大きな成果をもたらしている。</p> <p>情報機器整備等のハード面や教職員の資質向上研修会の充実の他、4Gから5G等への変化など、日々増大するインターネット環境に常に迅速に対応できる体制の構築をお願いしたい。</p>				

教育委員会点検・評価書(令和3年度実施事業)

No	10	事業名	こどもが主体的に学習するための学校 ICT 機器整備事業		
担当課	学校教育課(教育研究係)		有識者	宮城 靖	
事業概要	市立小学校2校(神森小学校、当山小学校)へ教育の情報化に向けた電子黒板セット(電子黒板+PC)の ICT 機器整備を実施する。				
評価	必要性	有効性	効率性	優先度	
	3	2	2	3	
	A				
成果等	<p>(1) 市内全ての小中学校への学校 ICT 機器導入完了 平成 27 年度より推進してきた本事業が完了し、市内全小中学校の普通教室に電子黒板が導入された。これにより、市内全小中学校で、ICT 機器を効果的に活用したこどもが主体的に学習するための環境が整備された。</p> <p>(2) わかる授業の構築によるこどもが主体的に学習するための ICT 機器整備 ICT 機器整備の完了に伴い、「ほぼ毎日 ICT を活用して学んでいる」児童生徒が46%であり、「ICT 機器を活用した授業は分かりやすかった」と感じている児童生徒は92%となった。また、教職員については、ICT 機器を活用して指導ができる教員が85%であり、児童生徒が ICT 機器を活用して学べるよう指導できる教員が80%となった。いずれも全国平均を上回る結果となった。</p>				
課題	<ul style="list-style-type: none"> ○ 学校 ICT 機器整備の完了に伴い、第 1 期導入校など、過去に整備した学校の ICT 機器について、一人一台端末を接続した際に機能不足が顕著である。 ○ 学校 ICT 機器を日常的かつ効果的に活用していくための児童生徒及び教職員のさらなるスキルアップが必要である。 				
今後の方向	<ul style="list-style-type: none"> ○ 過去に整備した学校 ICT 機器の計画的・継続的な機能強化の推進による、複雑化する現在及び未来社会の諸問題の解決を図るための資質・能力の向上。 ○ 一人一台端末を含めた ICT 機器の日常的かつ効果的な活用を図るための、教職員及び児童生徒に対する研修や指導・支援の充実。また、その支援体制の強化。 ○ これまで整備した学校 ICT 機器を効果的に活用するための、教職員に対する授業用端末の計画的な整備。 				
有識者の意見	<p>小中学校の ICT 教育の充実は、児童・生徒が主体的に学習する環境を充実させる教育ツールとして全国の小中学校で積極的に取り入れられている。本市の取組は各教室に電子黒板等を常設し、学習・教育環境の改善をすることや GIGA スクール構想との関連性も非常に強い事業となり、全校への整備完了は、児童・生徒が平等に教育を受ける権利の完成にも繋がっている。</p> <p>ICT 機器に関しては、4G から5G へなど、我々を取り巻くインターネット環境(次世代型環境)のめまぐるしい変化により、それに対応するため機器寿命も非常に短く、事業初年度に整備された機器は現在の通信環境等に対応しきれない状況も現れ始めている。</p> <p>児童・生徒を取り巻くネット環境も変化し、生徒の活動能力も大きく伸長しているなか、それに対応できるような ICT 機器等の充実と継続支援をお願いしたい。</p>				

教育委員会点検・評価書(令和3年度実施事業)

No	11	事業名	課題を抱える児童生徒支援事業		
担当課	こども青少年課		有識者	宮城 靖	
事業概要	沖縄振興特別推進市町村交付金を活用し、臨床心理相談員、教育相談員、自立支援員、青少年相談員、教育相談支援員を配置することで、不登校児童生徒や遊び・非行傾向の課題を抱える児童生徒に対して支援を行う。				
評価	必要性	有効性	効率性	優先度	
	3	3	3	3	
	A				
成果等	<p>○教育相談室「くくむい」では、不登校児童生徒を対象に、個別面談や小集団活動を通し、学校復帰・社会適応を目指して支援を行った。[教育相談総件数5,881件 定期相談生120人]</p> <p>○自立支援室「ひなた」では、あそび非行傾向児童生徒を対象に、居場所づくりや社会的自立・自立に向けた支援を行った。[支援件数 486件 児童生徒数 20人]</p> <p>○R2年度有識者意見に「不登校時期の学業の遅れや進路選択上の不利益が存在する。」との提言があり、「くくむい」や「ひなた」へ通う児童生徒、適応指導教室「いまあじ」入級生を対象に学習活動を積極的に取り入れた。学びの活動を通して、自らの進路に関心を持ち、社会的自立を目指す態度の育成を図った。</p> <p>○各小中学校へ教育相談員を配置し、相談業務や登校支援を実施。また、青少年相談員は市内を巡回し、非行の未然防止や不審者の早期発見に努めた。</p>				
課題	<p>○不登校児童生徒は全国・全県的に増加傾向であり、本市も同様である。さらに、令和3年度は新型コロナウイルスの感染回避を理由とした長期欠席も出現している。</p> <p>○長期欠席増加に伴い、教育相談室「くくむい」への相談件数が年々増加し、業務量が増え対応に苦慮している。</p>				
今後の方向	<p>○増加する定期相談生に対応し、教育相談員の負担を軽減するため、教育相談室「くくむい」にて小集団活動の強化を図り、学校復帰・社会適応を目指す。</p> <p>○関係機関との連携を今後も図り課題を抱える児童生徒に対し効果的な支援を行う。</p> <p>○小集団活動を強化するため、令和4年度は対人交流の場を7コマ設ける(R2は4コマ、R3は6コマ)。</p> <p>○初回面談で心理士による、相談者の訴えを明らかにするインテークをひなたでも実施。該当する児童生徒の世帯背景を抑え、適切な支援方針を検討する。</p> <p>○相談者を客観的に分析するアセスメントとして知能検査や社会生活能力検査を実施する。</p> <p>○あそび非行傾向の子を持つ親の保護者会を開催する。</p>				
有識者の意見	<p>不登校の児童生徒は年々増加の一途をたどり、コロナ感染拡大による感染予防の取組み等で一気に加速しているのが全県的な傾向である。本市においても現状は変わらず、相談件数や支援件数も増加の傾向であることが成果と課題の報告からも理解することができた。</p> <p>不登校の理由は十人十色であり、それに対応する本市の教育相談事業では、臨床心理相談員、教育相談員、自立支援員、青少年相談員、教育相談支援員などを配置して、不登校児童生徒に対応しているが、不登校児童生徒の増加による多忙さは心痛の思いで恐縮している。</p> <p>コロナ禍による不登校の増加で、高等学校では進路を変更し通信教育で学力の向上を目指す生徒も多くなっている現状のなか、本市の不登校児童生徒の学力の保障は大きな課題であり、教室で勉強できなくても、各教室と各相談室を繋げる事業計画などを本格化させ、学習の保障ができる環境を整えば良いのではないかと思う。相談室等でICT機器を使い、オンライン授業を受ける体制の充実がGIGAスクール構想と関連づけた教育の取組でもあると考える。</p>				

教育委員会点検・評価書(令和3年度実施事業)

No	12	事業名	学校給食費補助金交付事業		
担当課	学校給食調理場		有識者	宮城 靖	
事業概要	保護者の経済的負担を軽減し、安心して子育てができる環境整備を図ることを目的として、浦添市立小中学校に在籍する児童生徒の保護者に対し、所得制限を設け学校給食費を全額補助する。				
評価	必要性	有効性	効率性	優先度	
	3	2	2	3	
	A				
成果等	○浦添市立小中学校に通う児童生徒の保護者324人(内訳:児童258人・生徒66人)に対し所得制限を設け補助金を交付することで保護者の経済的負担を軽減し、安心して子育てが出来る環境整備を図ることができた。				
課題	○現在、本事業の財源として「沖縄県子ども貧困対策推進交付金」が8割、市の一般財源が2割となっているが、令和4年度以降は県の交付金が終了する。今後は市の一般財源だけで事業を継続することが難しく、財源確保が課題である。				
今後の方向	○子育て世代が抱えている保護者の経済的負担を軽減する。 ○環境整備は極めて重要であると認識し、今後財源確保に努める。				
有識者の意見	<p>本市では、「保護者の生活困窮」による「子供の貧困」が大きな社会問題となるなか、所得制限を設けながら、保護者の経済的負担を軽減し、安心して子育てができる環境整備事業を継続的にまた積極的に取り組んできた。</p> <p>親が経済的に困窮し食事にも満足に取れない子どもたちに対して、子どもの貧困対策事業とも連携した取組となっているこの事業は、大変素晴らしい事業と言えるだろう。</p> <p>児童・生徒の心身の健全な発達に資する学校給食の無償化が全国的に進まない理由として、予算の継続的な確保が挙げられているが、本市でも国や県の補助事業や交付金が削減され、継続的な見通しができないなか、事務局の取組は大いに評価でき学校給食費補助金交付事業の継続は重要であると考えている。</p> <p>「沖縄県子ども貧困対策推進交付金」と併せて、一般財源からの財源確保に務め、永続的な事業推進のための方策を模索してもらいたい。</p>				

資 料

教育委員会会議における議案等一覧

開催回数19回(定例会12回、臨時会7回)

議案64件、報告23件、指名2件

定例会 臨時会	開催日	議案番号	議決	議案名
定例1	R3.4.2	指名		教育長職務代理者の指名について
			その他 (報告)	浦添市学校施設長寿命化計画の策定について
定例2	R3.5.7	第1号	原案どおり 承認	第197回浦添市議会定例会に提出する議案を作成するための意見の申し出について
		第2号	原案どおり 承認	教科用図書那覇採択地区協議会委員の指名について(又吉 繁)
		報告 第1号		専決事項の報告について
		報告 第2号		専決処分の報告について
定例3	R3.6.3	第3号	原案どおり 承認	浦添市立小学校及び中学校の指定通学区域に関する規則の一部を改正する規則について
		第4号	原案どおり 承認	浦添市立小学校及び中学校に通学する児童生徒の通学指定校の変更に関する規則の一部を改正する規則について
		報告 第3号		専決事項の報告について(県費負担教職員)
		報告 第4号		専決事項の報告について(教育委員会事務局職員)
			その他 (報告)	内間小学校の給食一部中止について
			その他 (報告)	浦添市立学校適正規模・適正配置に関する基本方針策定等支援委託業務について
臨時1	R3.6.4	第5号	原案どおり 承認	浦添市立小中学校及び浦添市立幼稚園の臨時休業について
臨時2	R3.6.25	第6号	原案どおり 承認	浦添市立学校管理規則の一部を改正する規則について
		第7号	原案どおり 承認	浦添市立幼稚園管理規則の一部を改正する規則について
		第8号	原案どおり 承認	県費負担教職員の懲戒処分の内申について
定例4	R3.7.2	第9号	原案どおり 承認	史跡中頭方西海道及び普天満参詣道整備委員会規則の制定について
		第10号	原案どおり 承認	令和4年度使用小学校教科用図書の採択について
		第11号	原案どおり 承認	令和4年度使用中学校教科用図書の採択について
		第12号	原案どおり 承認	令和4年度小学校・中学校の特別支援学級で使用する教科用図書の採択について
		第13号	原案どおり 承認	教育委員会職員の人事について(退職)
		第14号	原案どおり 承認	教育委員会の人事について
		報告 第5号		令和3年度教育委員会点検・評価報告書
		報告 第6号		専決事項の報告について(県費負担教職員)
定例5	R3.8.6	第15号	原案どおり 承認	第198回浦添市議会定例会に提出する議案を作成するための意見の申し出について
		第16号	原案どおり 承認	県費負担教職員の内申について
		報告 第7号		専決事項の報告について(県費負担教職員)
臨時3	R3.8.18	第17号	原案どおり 承認	浦添市立小中学校及び浦添市立幼稚園の臨時休業について
		報告 第8号		専決事項の報告について(県費負担教職員)
			その他	浦添市当山の牧港川での水難事故について
定例6	R3.9.3	第18号	原案どおり 承認	浦添市立学校適正規模・適正配置に関する基本方針の策定について(諮問)
		第19号	原案どおり 承認	教育委員会職員の人事について
		報告 第9号		専決事項の報告について(県費負担教職員)

定例会 臨時会	開催日	議案番号	議決	議案名
		報告 第10号		専決処分の報告について
		報告 第11号		臨時代理したことを報告し、承認を求めることについて
			その他 (報告)	エコアイランドに向けた人材育成及びキャリア教育事業の見直しについて
			その他 (報告)	指定校変更の基準について
定例7	R3.10.1	第20号	原案どおり 承認	浦添市教育委員会押印の廃止に伴う関係規則の整理に関する規則の制定について
		第21号	原案どおり 承認	浦添市教育委員会表彰規則の全部を改正する規則について
		報告 第12号		専決事項の報告について(県費負担教職員)
		報告 第13号		臨時代理したことを報告し、承認を求めることについて
定例8	R3.11.5	第22号	原案どおり 承認	第199回浦添市議会定例会に提出する議案を作成するための意見の申し出について
		第23号	原案どおり 承認	浦添市立図書館の設置及び管理に関する条例施行規則の一部を改正する規則
		第24号	原案どおり 承認	浦添市立図書館資料に関する弁償規程
		第25号	原案どおり 承認	浦添市立公民館の設置及び管理に関する条例施行規則の一部を改正する規則
		第26号	原案どおり 承認	浦添市社会教育学級開設規程を廃止する訓令について
		報告 第14号		専決事項の報告について(県費負担教職員)
定例9	R3.12.3	第27号	原案どおり 承認	浦添市立公民館の設置及び管理に関する条例施行規則の一部を改正する規則を廃止する規則
		第28号	原案どおり 承認	浦添市教育委員会に係る行事の共催及び後援に関する規程
		第29号	原案どおり 承認	教育委員会職員の人事について
		報告 第15号		専決事項の報告について(県費負担教職員)
			その他 (報告)	令和4年「浦添市成人式」について
定例10	R4.1.7	第30号	原案どおり 承認	浦添市立学校給食調理場設置条例の施行及び給食の実施に関する規則の一部を改正する規則
		第31号	原案どおり 承認	浦添市立学校給食調理場運営に関する要綱の一部を改正する等の告示
		第32号	原案どおり 承認	浦添市学校給食費補助金交付規程の一部を改正する告示
		第33号	原案どおり 承認	浦添市立幼稚園を認定こども園に移行するための浦添市教育委員会職員職名に関する規則の一部を改正する等の規則
		第34号	原案どおり 承認	浦添市立幼稚園を認定こども園に移行するための浦添市立学校学校評議員設置要綱の一部を改正する等の訓令
		第35号	原案どおり 承認	独立行政法人日本スポーツ振興センター共済掛金徴収規則の全部を改正する規則について
		第36号	原案どおり 承認	浦添市私立幼稚園就園奨励費補助金交付規程を廃止する告示について
		第37号	原案どおり 承認	令和3年度浦添市教育委員会表彰の被表彰者の決定について
		第38号	原案どおり 承認	県費負担教職員の内申について
		報告 第16号		臨時代理したことを報告し、承認を求めることについて
		報告 第17号		専決事項の報告について(県費負担教職員)
		報告 第18号		浦添市立学校体育施設開放事業一部外部委託について
			その他 (報告)	令和4年 成人式について
			その他 (報告)	新型コロナウイルス感染症拡大防止に関すること
臨時4	R4.1.28	第39号	原案どおり 承認	令和3年度浦添市教育委員会表彰式の開催中止について

定例会 臨時会	開催日	議案番号	議決	議案名
定例11	R4.2.4	第40号	原案どおり承認	第200回浦添市議会定例会に提出する議案を作成するための意見の申し出について
		第41号	原案どおり承認	浦添市文化財の指定の解除について
		第42号	原案どおり承認	浦添市教育委員会の特殊な勤務に従事する職員の勤務時間等に関する規則の一部を改正する規則
		第43号	原案どおり承認	浦添市就学援助規則の一部を改正する規則
		第44号	原案どおり承認	未来へ翔たく太陽っ子育成事業補助金交付規程の一部を改正する訓令
		報告第19号		臨時代理したことを報告し、承認を求めることについて
		報告第20号		専決事項の報告について(県費負担教職員)
臨時5	R4.2.21	第45号	原案どおり承認	令和4年度公立学校管理職等の定期人事異動の内申について
定例12	R4.2.28	第46号	原案どおり承認	浦添市美術館の設置及び管理に関する条例施行規則の一部を改正する規則
		第47号	原案どおり承認	浦添市美術館協議会規則の一部を改正する規則
		第48号	原案どおり承認	浦添市文化財調査審議会規則等の一部を改正する規則
		第49号	原案どおり承認	浦添市学校職員に係る教職員評価システム苦情対応規程の一部を改正する訓令
		第50号	原案どおり承認	浦添市立学校における学校運営協議会規則
		第51号	原案どおり承認	令和4年度公立学校教職員等の定期人事異動の内申について
		第52号	原案どおり承認	指導主事の派遣に関する内申について
		第53号	原案どおり承認	令和4年度浦添市立幼稚園教諭の人事異動について
		第54号	原案どおり承認	県費負担教職員の内申について
		報告第21号		専決事項の報告について(県費負担教職員)
			その他(報告)	浦添市美術館の使用料等に関する規則の一部を改正する規則について
		臨時6	R4.3.18	第55号
第56号	原案どおり承認			教育委員会職員の人事について(退職)
第57号	原案どおり承認			教育委員会職員の人事について
臨時7	R4.3.30	第58号	承認	浦添市教育委員会の組織、事務分掌等に関する規則の一部を改正する規則
		第59号	承認	浦添市教育委員会事務決裁規程を廃止する訓令
		第60号	原案どおり承認	浦添市教育委員会職員安全衛生管理規則等の一部を改正する規則
		第61号	原案どおり承認	浦添市教育委員会文書取扱規程を廃止する訓令
		第62号	原案どおり承認	浦添市学期制審議会設置規則を廃止する規則
		第63号	原案どおり承認	浦添市就学支援委員会規則を廃止する規則
		第64号	原案どおり承認	令和4年度浦添市立幼稚園園長の任免について
		報告第22号		専決事項の報告について(県費負担教職員)
		報告第23号		臨時代理したことを報告し、承認を求めることについて
		指名		教育長職務代理者の指名について

教育委員の活動状況
(令和3年4月1日～令和4年3月31日)

日付	内容
4月1日(木)	令和3年度辞令交付式
4月2日(金)	教育委員会定例会(4月)
5月7日(金)	教育委員会定例会(5月)
5月12日(水)	第1回教科用図書那覇採択地区協議会
6月3日(木)	教育委員会定例会(6月)
6月4日(金)	第1回教育委員会臨時会 第1回総合教育会議
6月25日(金)	学校訪問 ICT活用授業参観(浦添小・浦添中) 第2回教育委員会臨時会 教育委員会議勉強会
7月2日(金)	教育委員会定例会(7月)
7月12日(月)	第2回教科用図書那覇採択地区協議会
7月29日(木)	市教育研究所 文化講演会
7月30日(金)	教育委員会議勉強会
8月6日(金)	教育委員会定例会(8月)
8月18日(水)	第3回教育委員会臨時会
9月3日(金)	教育委員会定例会(9月)
9月28日(火)	教育委員会議勉強会
10月1日(金)	教育委員会定例会(10月)
10月3日(日)	ゆいゆいキッズ演劇
10月28日(木)	経産省WEB会議
10月29日(金)	教育委員会議勉強会
11月2日(火)	学校訪問 仲西中学校
11月4日(木)	学校訪問 当山小学校
11月5日(金)	教育委員会定例会(11月)
11月11日(木)	学校訪問 神森小学校
11月12日(金)	学校訪問 前田小学校
11月16日(火)	学校訪問 浦添小学校
11月17日(水)	学校訪問 沢岬小学校
11月18日(木)	学校訪問 港川小学校
11月22日(月)	学校訪問 神森中学校
11月24日(水)	学校訪問 宮城小学校
11月25日(木)	学校訪問 浦添中学校
11月26日(金)	学校訪問 仲西小学校 那覇地区市町村教育委員会協議会会議 教育委員会議勉強会
11月30日(火)	学校訪問 港川中学校
12月2日(木)	学校訪問 浦城小学校
12月3日(金)	教育委員会定例会(12月)
12月6日(月)	学校訪問 内間小学校
12月16日(木)	学校訪問 浦西中学校
12月17日(金)	学校訪問 牧港小学校
1月5日(水)	教育委員会議勉強会
1月7日(金)	教育委員会定例会(1月)
1月14日(金)	市町村教育委員会連合会第3回理事会

日付	内容
1月27日(木)	市町村教育委員会教育長・教育委員研修会
1月28日(金)	第4回教育委員会臨時会 教育委員会議勉強会
2月4日(金)	教育委員会定例会(2月)
2月21日(月)	第5回教育委員会臨時会 教育委員会議勉強会
2月28日(月)	教育委員会定例会(3月)
3月18日(金)	第6回教育委員会臨時会
3月30日(水)	第7回教育委員会臨時会

教育長の活動状況
(令和3年4月1日～令和4年3月31日)

日付	内容
4月1日(木)	令和3年度定期人事異動辞令交付式
	拡大庁議
	庁議
4月2日(金)	教育委員会定例会(4月)
	令和3年度 第1回浦添市初任者研修会
4月5日(月)	庁議
4月6日(火)	定例ミーティング
	表敬訪問
4月7日(水)	業務運営会議
4月8日(木)	来客
4月12日(月)	新型コロナ対策会議
	政策会議
4月13日(火)	定例ミーティング
	表敬訪問
4月14日(水)	小中連携担当者研修会
4月15日(木)	事務調整
4月19日(月)	政策会議
	事務調整
	事務調整
	令和3年度 学校運営協議会準備会委嘱状交付式・研修会
4月20日(火)	定例ミーティング
	庁議
	令和3年度 第1回不登校等児童生徒対策推進委員会
4月21日(水)	カーミージーの海で遊び隊様より新入生への入学祝いパンフレット寄贈式
	来客
4月22日(木)	辞令交付式
	第1回校長連絡協議会
	第44回(令和3年度)浦添てだこまつり実行委員会
	令和3年度 第39回浦添市民憲章推進協議会総会
4月26日(月)	教頭等連絡協議会
	表敬訪問
	株式会社カイコーポレーション様より除菌用ハンドジェルの寄贈
4月27日(火)	定例ミーティング
4月28日(水)	臨時議会
	浦添市交通安全推進協議会総会
	暴力団壊滅浦添市民対策会議
4月30日(金)	表敬訪問
	ホームセンターさくもと様より生理用品寄贈式
5月7日(金)	教育委員会定例会(5月)
	令和3年度 浦添市育英会第1回理事会
5月10日(月)	政策会議
5月11日(火)	定例ミーティング
	学力向上推進委員会
5月12日(水)	第1回教科用図書那覇採択地区協議会
5月13日(木)	事務調整
5月14日(金)	業務運営会議
	第33回浦添市てだこ学園大学院入学式

日付	内容
5月17日(月)	政策会議
5月18日(火)	定例ミーティング 庁議 教育委員会実施事業の点検・評価有識者委嘱状交付式 琉大附属小中学校表敬訪問
5月19日(水)	第1回情報教育推進委員会の事前説明 教育委員会実施の点検・評価有識者委嘱状交付式
5月20日(木)	令和3年度 第1回浦添市情報教育推進委員会 新型コロナ対策会議
5月24日(月)	臨時庁議
5月25日(火)	定例ミーティング
5月26日(水)	浦添市教育支援員辞令・委嘱状交付式及び第1回教育支援委員会
5月27日(木)	令和3年度 浦添市育英会評議会(文書会議)
5月28日(金)	業務運営会議 新型コロナ対策会議
5月31日(月)	二役調整
6月1日(火)	第197回浦添市議会定例会
6月2日(水)	議会勉強会
6月3日(木)	教育委員会定例会(6月) 事務調整
6月4日(金)	事務調整 新型コロナに関する意見交換会(WEB) 総合教育会議 第1回教育委員会臨時会 新型コロナ対策会議
6月7日(月)	第197回浦添市議会定例会 臨時庁議
6月8日(火)	第197回浦添市議会定例会
6月9日(水)	第197回浦添市議会定例会
6月10日(木)	第197回浦添市議会定例会
6月11日(金)	第197回浦添市議会定例会
6月14日(月)	第197回浦添市議会定例会
6月18日(金)	第197回浦添市議会定例会
6月21日(月)	新型コロナ対策会議
6月22日(火)	定例ミーティング
6月24日(木)	評価者(当初)面談
6月25日(金)	第2回教育委員会臨時会 教育委員会議勉強会 評価者(当初)面談
6月28日(月)	評価者(当初)面談
6月29日(火)	定例ミーティング 事務調整
7月2日(金)	教育委員会定例会(7月) 来客
7月6日(火)	定例ミーティング
7月7日(水)	教育委員会業務運営会議 おそうじ本舗様より仲西中へ消毒液の寄贈式
7月8日(木)	第2回校長連絡協議会
7月9日(金)	少年の主張大会

日付	内容
7月12日(月)	政策会議 新型コロナ対策会議 第2回教科用図書那覇採択地区協議会
7月13日(火)	定例ミーティング 令和3年度 浦添市・泉州市小中学生交流事業(オンライン交流)
7月14日(水)	宅建業協会女性会員有志の会まごころボランティア会様より生理用品の寄贈式
7月18日(日)	創立10周年 第1回TidaBatonteam Okinawaバトン発表会
7月19日(月)	政策会議
7月20日(火)	定例ミーティング 庁議 贈呈式 お米等の贈呈式
7月26日(月)	政策会議
7月27日(火)	定例ミーティング
7月28日(水)	令和3年度 第1回浦添市社会教育委員会議
7月29日(木)	第20回教育文化講演会
7月30日(金)	教育委員会議勉強会
8月2日(月)	新型コロナ対策会議
8月3日(火)	定例ミーティング 臨時庁議
8月6日(金)	教育委員会定例会(8月)
8月10日(火)	定例ミーティング 現場視察
8月12日(木)	事務調整
8月16日(月)	臨時庁議 臨時校長会
8月17日(火)	定例ミーティング 庁議
8月18日(水)	第3回教育委員会臨時会 新型コロナ対策会議
8月19日(木)	来客 ビデオメッセージ撮影
8月23日(月)	政策会議
8月24日(火)	定例ミーティング
8月25日(水)	浦添市赤十字奉仕団来訪
8月27日(金)	オンライン授業視察
8月30日(月)	政策会議 新型コロナ対策会議
8月31日(火)	定例ミーティング 第3回校長連絡協議会
9月3日(金)	教育委員会定例会(9月)
9月6日(月)	第198回浦添市議会定例会
9月7日(火)	議会勉強会
9月8日(水)	事務調整
9月9日(木)	事務調整
9月10日(金)	第198回浦添市議会定例会 臨時庁議
9月13日(月)	第198回浦添市議会定例会

日付	内容
9月14日(火)	第198回浦添市議会定例会 臨時庁議
9月15日(水)	第198回浦添市議会定例会 辞令交付式
9月16日(木)	第198回浦添市議会定例会
9月17日(金)	第198回浦添市議会定例会
9月24日(金)	第198回浦添市議会定例会
9月27日(月)	第198回浦添市議会定例会
9月28日(火)	定例ミーティング 教育委員会議勉強会
9月29日(水)	書籍贈呈式
10月1日(金)	教育委員会定例会(10月)
10月4日(月)	政策会議
10月5日(火)	令和3年度 長期教育研究員入所式 教頭等連絡協議会 飲食店心美様より市内学校へ生理用品の寄贈
10月6日(水)	業務運営会議 全国地域安全運動
10月7日(木)	市町村教育長連絡協議会(WEB会議)
10月8日(金)	令和3年度 評価者(中間)面談
10月11日(月)	政策会議 来客 令和3年度 評価者(中間)面談
10月12日(火)	定例ミーティング 第75回浦添市戦没者追悼式 令和3年度 評価者(中間)面談
10月13日(水)	沖縄県都市教育長協議会(WEB会議)
10月18日(月)	庁議 北那覇税務署長来訪
10月19日(火)	定例ミーティング
10月21日(木)	決算委員会冒頭あいさつ
10月25日(月)	政策会議
10月26日(火)	定例ミーティング 学校適正規模等審議会(第1回)
10月27日(水)	美術館審議会答申報告
10月28日(木)	WEB会議
10月29日(金)	教育委員会議勉強会
11月1日(月)	政策会議 表敬訪問
11月2日(火)	定例ミーティング 学校訪問 仲西中学校 民生児童委員表敬訪問
11月4日(木)	学校訪問 当山小学校
11月5日(金)	教育委員会定例会(11月) 来客
11月7日(日)	令和3年度交流事業「太陽の継承」公演
11月8日(月)	政策会議 浦添市行財政改革推進本部 講演会(ZOOM開催)

日付	内容
11月9日(火)	定例ミーティング
	第4回校長連絡協議会
	来客
	ビデオメッセージ撮影
11月10日(水)	業務運営会議
	オンライン協議会事前接続確認講習
11月11日(木)	沖縄県PTA連合会表敬訪問
	学校訪問 神森小学校
11月12日(金)	学校訪問 前田小学校
11月15日(月)	政策会議
	事務調整
11月16日(火)	定例ミーティング
	学校訪問 浦添小学校
11月17日(水)	学校訪問 沢岬小学校
	庁議
	令和3年度 税に関する標語・作文表彰式
11月18日(木)	学校訪問 港川小学校
	市町村教育委員会オンライン協議会
11月19日(金)	庁議
	市内小中学校および市立図書館への書籍の寄贈
	輝くてだこ市民賞授賞式
11月22日(月)	政策会議
	「いのちの授業」視察
	学校訪問 神森中学校
11月24日(水)	学校訪問 宮城小学校
	事務調整
11月25日(木)	学校訪問 浦添中学校
	臨時議会
	庁議
11月26日(金)	学校訪問 仲西小学校
	令和3年度 沖縄県青少年センター連絡協議会定期研修会
	那覇地区市町村教育委員会協議会会議
	教育委員会議勉強会
11月28日(日)	2021年うらそえYA文芸賞表彰式
11月29日(月)	政策会議
	業務運営会議
11月30日(火)	定例ミーティング
	学校訪問 港川中学校
	寄附金贈呈式
12月1日(水)	第199回浦添市議会定例会
12月2日(木)	学校訪問 浦城小学校
	議会勉強会
12月3日(金)	教育委員会定例会(12月)
	事務調整
12月4日(土)	令和3年度 浦添市障がい児・者ふれあいクリスマス会
12月6日(月)	学校訪問 内間小学校
	第52回中部地区老人クラブ大会
12月7日(火)	第199回浦添市議会定例会
	事務調整

日付	内容
12月8日(水)	第199回浦添市議会定例会 庁議
12月9日(木)	第199回浦添市議会定例会
12月10日(金)	第199回浦添市議会定例会
12月12日(日)	浦添市立浦添小学校創立140周年記念式典
12月13日(月)	第199回浦添市議会定例会
12月14日(火)	第199回浦添市議会定例会
12月16日(木)	学校訪問 浦西中学校
12月17日(金)	学校訪問 牧港小学校 第1回浦添市文化財調査審議会
12月20日(月)	第199回浦添市議会定例会 表敬訪問
12月21日(火)	定例ミーティング 浦添市民生委員児童委員連絡協議会役員表敬訪問
12月23日(木)	教育員会表彰選考審査会 市町村教育委員会オンライン協議会
12月27日(月)	事務調整
12月28日(火)	定例ミーティング 拡大庁議 二役調整
1月4日(火)	国旗・県旗・市旗・レインボーフラッグ掲揚式 拡大庁議
1月5日(水)	業務運営会議 教育委員会議勉強会
1月6日(木)	臨時校長会(WEB)
1月7日(金)	教育委員会定例会(1月)
1月11日(火)	定例ミーティング
1月12日(水)	事務調整 庁議
1月18日(火)	定例ミーティング
1月21日(金)	令和3年度 沖縄県都市教育長協議会第2回会議(WEB)
1月24日(月)	ヤクルト球団関係者来訪
1月25日(火)	定例ミーティング
1月26日(水)	臨時校長会 令和3年度 浦添市育英会第2回理事会
1月27日(木)	教育長・教育委員研修会
1月28日(金)	第4回教育委員会臨時会 教育委員会議勉強会
1月30日(日)	浦添市立仲西小学校 創立120周年記念式典
1月31日(月)	政策会議
2月1日(火)	第5回校長連絡協議会
2月2日(水)	業務運営会議 評価者(最終)面談
2月3日(木)	評価者(最終)面談 宮城珠算学校表敬訪問
2月4日(金)	教育委員会定例会(2月) 評価者(最終)面談
2月7日(月)	政策会議 第2回情報教育推進委員会

日付	内容
2月8日(火)	定例ミーティング 事務調整 事務調整
2月9日(水)	事務調整 令和3年度 第2回不登校等児童生徒対策推進委員会
2月10日(木)	教頭連絡会 庁議
2月14日(月)	政策会議 事務調整
2月15日(火)	定例ミーティング
2月18日(金)	事務調整
2月21日(月)	政策会議 第5回教育委員会臨時会 教育委員会議勉強会 事務調整
2月22日(火)	定例ミーティング 第200回浦添市議会定例会(記念式典)
2月24日(木)	史跡浦添城跡整備員会 第73回「沖展」浦添市内小中学生招待券贈呈式(沖縄タイムス社様) 議会勉強会
2月25日(金)	事務調整 史跡中頭方西海道及び普天満参詣道整備員会
2月28日(月)	政策会議 教育委員会定例会(3月) 育英会寄付金贈呈式
3月1日(火)	第200回浦添市議会定例会 臨時庁議
3月2日(水)	第200回浦添市議会定例会
3月3日(木)	第200回浦添市議会定例会
3月4日(金)	第200回浦添市議会定例会
3月7日(月)	第200回浦添市議会定例会
3月8日(火)	第200回浦添市議会定例会
3月10日(木)	書籍贈呈式
3月11日(金)	育英会寄付金贈呈式
3月15日(火)	定例ミーティング
3月16日(水)	予算審査特別委員会
3月17日(木)	寄附金贈呈式 庁議
3月18日(金)	第6回教育委員会臨時会
3月19日(土)	第73回「沖展」開会式
3月20日(日)	「沖展」表彰式
3月23日(水)	株式会社ヨビケン様より新一年生用ランドセルカバー寄附金贈呈式
3月24日(木)	令和3年度 長期教育研究員成果報告会及び修了式
3月25日(金)	第200回浦添市議会定例会
3月28日(月)	政策会議
3月30日(水)	第7回教育委員会臨時会 事務調整
3月31日(木)	拡大庁議 令和3年度 退職辞令交付式

点検・評価を終えて

令和 4 年度の「教育委員会点検・評価書」がまとまりました。

「教育委員の活動評価」については、新教育委員会制度導入に伴い、平成 30 年度から教育長への評価も加え、項目ごとにABCの評価を行う自己評価方式を導入しました。

今年度は、新型コロナウイルス感染防止を図りながら、新たな企画、運営に取り組んでいる学校や関係機関、職員、また、保護者の皆様、地域住民の方々に多方面でのご協力を頂きました。

毎月行われている教育委員会議においては、審議の活性化、深化を図るため事前の議案資料の読み込みや、自主的な学習の場を設けるなどして会議に臨み充実を図ってきました。また、毎年実施している学校訪問では、市内 16 校で GIGA スクール構想や ICT 機器の充実によるオンライン授業が行われており、児童生徒の居場所に関わらず同時に配信できる授業形態は今後の学校教育に大きな示唆を与えるものと実感しました。さらに、社会教育においてもデジタル化の推進により、多くの事業が充実、発展していくものと期待いたします。

「教育長への委回事務評価」については、重点施策と位置付ける事業の中から 12 事業を精選し、各事業主管課で 4 つの観点で自己評価を行い、総合評価を出して頂きました。その上で、有識者による外部評価を行って頂きました。

12 事業のうち 8 事業については、主要事業として前年度から継続して評価対象事業といたしました。事業全体としては、前年度の評価も踏まえ着実に推進されたと思われます。中には、前年度の有識者の提言を受け、課題改善に向けて取り組まれた事業もありました。しかし、新型コロナウイルスの感染拡大により事業の縮小や変更を余儀なくされることも多々あり、有識者からは当該職員への労いと激励、さらに、今後の事業推進へのご提言をいただきました。

今後は、事業ごとに確認した内部評価をもとに、課題や今後の方向性、更には有識者による指摘や助言を真摯に受け止め、施策の着実な実現に向け効果的な教育行政の推進に努めてまいりたいと思います。

結びに、有識者の長田隆子様、下地安広様、宮城靖様には、令和 4 年度の「点検・評価」にあたり、書面のみならず、担当部署や関係者への聞き取り、現地調査、関係資料の読み込みなど精力的に取り組まれ、大所高所からのご助言、ご意見を頂きましたことに衷心より厚く感謝を申し上げます。

浦添市教育委員会